令和４年度　　（　宮城県立名取支援　）学校の研究概要　～令和５年１月末現在～

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　運営委員氏名（　島津　真樹　）

|  |  |
| --- | --- |
| 研究主題 | 知的障害のある児童生徒に応じた資質・能力の育成を目指した授業づくり〈３年次〉  ~　ＰＤＣＡサイクルに基づいた学習指導計画の活用による授業実践　~ |
| 研究目標 | 新様式の学習指導計画を活用し，ＰＤＣＡサイクルに基づいた授業実践を蓄積することを通して，三つの柱（評価の３観点では「知識・技能」，「思考・判断・表現」，「主体的に学習に取り組む態度」）を意識した知的障害のある児童生徒に応じた授業づくりを深めるとともに，新学習指導要領を踏まえた学習指導計画の整備を進める。 |
| 研究計画  研究内容  及び方法 | |  |  | | --- | --- | | １年次 | 新学習指導要領を踏まえた学習指導計画の作成及び実践 | | ２年次 | 三つの柱を取り入れた学習指導計画の活用による授業実践 |   **３年次**（今年度）：**ＰＤＣＡサイクルに基づいた学習指導計画の活用による授業実践**  ・学習指導計画を確実に蓄積する方法を全学部統一して取り組み，ＰＤＣＡサイクルを  回すための仕組みづくりを行う。（「学習指導計画の蓄積マニュアル」の作成と活用）  ・育成を目指す資質・能力の三つの柱に基づく目標設定ができるように理解を深め，学習指導計画の整備を進める。（総合教育センターの出前研修会の活用）  ・全学部の学習指導計画を閲覧しやすい環境づくりを行う。（共有フォルダの活用）  **学部ごとの学び合い**  ・学部ごとの実態に応じて協働での授業づくりを行う。  ・学校訪問指導では，学習指導計画を基に指導案を作成し，個に応じた目標や評価規準を設定した授業づくりを行う。  ・学習指導計画の作成及び実施。「扱う教科 主な内容」「学部段階」の確認をする。 |
| 成果  課題  研究紀要 | **学習指導要領を踏まえた学習指導計画を蓄積・活用する仕組みの整備**  三年間の研究の成果として，学習指導要領を踏まえて作成した学習指導計画の「反省・評価」の項目まで打ち込み，次年度の指導へとＰＤＣＡサイクルを繋げる校内の仕組みが整備できた。  **「学習指導計画」を「個別の指導計画」に生かしていくことが課題**  「「学習指導計画」を「個別の指導計画」の目標設定や評価に生かすことができたか」  という質問に約21％の教員が否定的な回答であったことから，「学習指導計画」を活用し，「個別の指導計画」の目標設定や評価にどのように生かしていくのかについて共通理解を図ることが今後の課題として残った。  **研究紀要のスリム化**（10分の１の厚みへ）  今年度発行の研究紀要「なとり」第35集から，これまで約180ページあった冊子を約18ページ程度へとスリム化を図った。パンフレットのような構成で，読み手の認知負荷を低減し，研究の概要が一目で分かる工夫を加えた。授業研究で活用した学習指導案などの資料は，これまでどおりコンパクトディスク（CD）で閲覧する形をとった。県内特別支援学校及び名取市内小中学校等に３月末に配付予定。 |